



伯龍「お飯茶碗」(2001年)



木村直「この松林は誰のためにあるのだろうか」より(国立療養所松丘保養園 東側 MH E-09)(2023年)

## 人権ライブラリー

### 『大阪にあったハンセン病療養所』トークイベント

### 「話すハンセン病療養所」

日程 : 2025年8月8日(金) 15:00～16:30

参加費 : 無料 ※要申込・先着順

参加方法 : 会場参加(定員40名)またはオンライン参加(定員無し)

※詳細は裏面をご覧ください。

会場 : 人権ライブラリー・多目的スペース

### 木村直 (アーティスト・写真家)

「生活の場としてのハンセン病療養所の記録と継承」を主軸に、写真・映像・インスタレーションを用いて制作活動を行う。二歳頃から両親に連れられ、国立療養所沖縄愛楽園(ハンセン病療養所)に訪れる。二十歳の頃に国立療養所松丘保養園(ハンセン病療養所)に訪れ、現在は松丘保養園の内と外を繋ぐ理念の元、『ばっけ通信』(ふきのとうの会)の編集長もやっている。

### 伯龍 (アーティスト・陶芸家)

1991年にハンセン病療養所に強制的に再入所させられたことを機に1995年以降、陶芸家として活動を始める。ハンセン病による後遺症のために、動かすづらい手でも使える生活のための工芸から、縄文を思わせる文様を凝らした陶芸作品を制作する。また他にも園内に風車やカカシ等の設置や、自身のアトリエの建築等を行う。

### 黒尾和久 (国立重監房資料館 部長)

東京学芸大学で教育学・博物館学を学び、東洋大学文学部大学院修士課程で考古学を修める。その後、東京都多摩地域にて考古学調査に従事。専門は縄文時代の実証的集落研究。その観点と方法を古代・中世そして近現代へと適応させてきた矢先の2000年に「旧石器遺跡ねつ造事件」が発覚。事件を契機に考古学史研究に着手し、考古学者の植民地支配・侵略戦争、国策との関わりを調査する。2009年4月から国立ハンセン病資料館に学芸員として勤務、2013年重監房跡の発掘調査に携わる。2018年からは現職である国立重監房資料館部長を務める。

令和7年度法務省委託 人権ライブラリー  
企画展示「大阪にあったハンセン病療養所」トークイベント

ハンセン病問題に関する企画展示のご案内

本イベントに登壇する写真家・木村直氏と陶芸家・伯龍氏によるハンセン病問題をテーマにした企画展示「大阪にあったハンセン病療養所」を開催しています！

開催期間

2025年7月4日（金）～8月15日（金）  
※9:00～17:00（土日祝日を除く）

開催場所

人権ライブラリー・企画展示スペース  
※入場無料

申込方法

【 締切：8月7日（木）16:00 】

WEB受付フォームでの申込み

下記URLまたは右のQRコードよりお申込みください。

<https://www.jinken-library.jp/news/detail/118346/>



FAXでの申込み **03-5777-1954**

参加方法 ※いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 会場参加（先着40名）	<input type="checkbox"/> オンライン参加
団体（法人名等） 部署名（部・課等）		
ふりがな お名前		
ご連絡先	TEL：	FAX：
	Email：	
情報提供不要 <input type="checkbox"/>	人権ライブラリーでは、人権に関する各種資料の制作、販売、研修会・各種イベント等に関する情報をメールで配信しています。 情報提供を希望されない方は、左の□欄にチェックしてください。	

※参加申込時にご記入いただいた個人情報につきましては、本事業及び人権ライブラリーからの情報提供（希望されない方は除く）以外の目的には使用いたしません。

お問合せ先

人権ライブラリー

〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4F  
（公益財団法人人権教育啓発推進センター併設）

TEL：03-5777-1919 FAX：03-5777-1954

Email：library@jinken.or.jp

WEB：https://www.jinken-library.jp/



人権に関する図書やDVD等資料、無料会議室をお探しの方は、人権ライブラリーまでお問合せください